

一般社団法人 大阪府病院薬剤師会 平成28年度事業計画書

I. 事業活動方針

会員の学識的及び社会的資質向上を図り、地域住民の医療と健康を守るなどの公益性の高い事業を実施する。また、患者の不利益回避を目的とした医療機関全般にわたる医療安全対策を検討し、その実践に関する啓発活動を実施するとともに、薬学的知識を駆使し、チーム医療の推進と地域医療への貢献という課題に対応していく。さらに、平成28年度診療報酬改定に関する適正な情報提供、医薬品の適正使用に関わる事項、実務実習受入体制の充実、病院・診療所薬剤師の臨床薬学の研鑽などの諸事業を遂行する。

II. 事業内容

1. 臨床薬学の教育と研修に関する事業

臨床薬学の基礎知識をはじめとした研修会、講演会、講習会、シンポジウムなどを開催することにより、専門家としての病院・診療所に勤務する薬剤師の資質向上をはかるとともに、広く府民に啓発活動を行う。

ア. 新入局薬剤師研修会の開催

新しく病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、病院・診療所薬局業務、臨床薬学に関する講義及び病院見学を行う。

1. 回数 7日間 (予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約180名(予定)

イ. 中堅薬剤師研修会の開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、次世代を担う中堅層に必要なテーマで研修会を開催する。

1. 回数 1回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約120名(予定)
3. 開催時期 平成28年11月 (予定)

ウ. 薬局長(薬剤部長)セミナーの開催

指導的立場にある薬局長への情報提供及び実践する際の問題点の整理を行う。

1. 回数 1回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約150名(予定)
3. 開催時期 平成29年2月 (予定)

エ. 研修講座シリーズの開催

臨床現場で実践的知識として有用な講習会をシリーズで開催する。

1. 回数 3回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約500名(予定)
3. 開催時期 平成28年6月
平成28年9月
平成29年3月 (予定)

オ. 実務セミナーの開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、実務スキルの向上や新たな業務展開の一助を目的に研修会を開催する。

1. 回数 2回(予定)
 2. 対象人員 薬剤師、約240名(予定)
 3. 開催時期 平成28年8月、平成29年2月(予定)
- カ. 患者支援業務に従事する薬剤師に対する研修会の開催
外来患者の支援をすることにより、地域医療を視野に入れた薬剤師を養成するための研修会を開催する。
- 1) 薬物療法と患者ケアのセミナー
新薬情報、病態に基づく最新の薬物治療のセミナー
1. 回数 3回(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約400名(予定)
- 2) 日常業務なんでも相談会
服薬支援業務に必須の知識とスキルの習得やマネジメントを検討する相談会
1. 回数 1回(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約40名(予定)
- 3) 症例から学ぶ会
患者アウトカムの貢献に向けて、薬物療法の課題を共有し、機能を越えた医療連携で患者支援を検討する会
1. 回数 2回(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約60名(予定)
- キ. 小規模病院懇話会および研修会の開催
比較的小さな規模の病院、施設、診療所に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師を対象に、日常業務で生ずる臨床面、また薬局運営面での諸問題についてシンポジウム形式で討議・検討する会を開催する。なお、1回は研修会形式で開催する。
1. 回数 3回(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約200名(予定)
- ク. チーム医療推進研修会の開催
「チーム医療」に関わる業務を遂行するにあたり、臨床現場で実践的知識として有用に必要な情報・技能・知識を提供すべく講習会を開催する。
1. 回数 3回(予定)
第1回 NST(予定)
第2回 緩和ケアチーム(予定)
第3回 災害チーム(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約350名(予定)
- ケ. 臨床の場に役立つ精神医学、精神薬学に関する講習会の開催
1. 回数 4回(予定)
 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約350名(予定)
- コ. 病院・診療所薬剤師業務の推進・支援を目的とした出版物等の企画・編集・発刊
「2016年度版 新入局病院診療所薬剤師研修テキスト」の編集・発刊、その他にも新たな出版物等を企画する。

2. 薬学教育における実務実習受入のための体制整備・充実に関する事業

薬学部学生の実務実習受け入れ体制の整備と充実を図るため、薬科大学（薬学部）との連携、実務実習指導薬剤師の養成事業並びに啓発活動を行う。

ア. 薬科大学（薬学部）との情報交換

イ. 実務実習指導薬剤師の養成・確保のための啓発活動

ウ. 実務実習指導薬剤師の養成事業（座学講習会 講座 ア、イ、ウ、オ）

1. 回数 1回（予定）

エ. 実務実習指導薬剤師の更新講習会の開催（座学講習会 講座 カ）

1. 回数 2回（予定）

3. 専門性の高い薬剤師育成のための事業

日本病院薬剤師会、日本医療薬学会等、各種薬剤師認定学会が実施する認定薬剤師及び専門薬剤師取得を目指す会員への知識習得の補助となる講習会を開催して、特定の専門分野に知識・技術を深く修めた薬剤師を育成し、地域医療並びに保健福祉医療の向上に寄与する。

ア. 認定薬剤師及び専門薬剤師育成のための講習会・ワークショップの開催

1. 回数 講習会9回 ワークショップ1回（予定）

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約1000名（予定）

4. 医薬品の安全性・有効性の確保並びに適正使用のための情報の収集と評価・伝達に関する事業

学術情報委員会が開催する新薬調査会で医療用医薬品の情報収集と評価の確認を行い、その調査事項を広報誌『O. H. P. NEWS』に掲載するとともに、医療用医薬品の安全性に関する情報、適正使用の情報などの伝達を行う。また、医薬品情報の収集・評価・提供に関する研究を行う。

ア. 新薬調査会を年11回開催

イ. 医療用医薬品の安全性に関する情報提供及びそのための研究

ウ. 医療用医薬品の適正使用、安全性確保のための情報伝達の企画

エ. 医療用医薬品の副作用調査

5. 患者の不利益回避に関する事業

安全な薬物療法を提供するために、薬剤師として必要な情報の提供、学習会の開催など、会員へのフィードバックを行う。また、各会員施設での対応に関する相談を受けたり、製薬会社と意見交換を行うなどの役割も担う。

ア. 医療安全研修会の開催

1. 回数 1回（予定）

薬剤師の医療安全に関する知識の底上げをはかる目的で、医療の質の向上と安全（特に薬剤関連事故防止を中心に）をテーマにした研修会を開催する。

各施設において医療事故防止のためにリーダーシップをとれる薬剤師を育成する。

インシデント・アクシデント報告の重要性について認識を深める。

イ. 医薬品安全管理責任者交流会の開催と業務支援

1. 回数 1回（予定）

各病院・診療所で任命された医薬品安全管理責任者交流会を開催し、医薬品の安全使用のための具体的な方策について情報交換を行う。

2. 医薬品安全研修会開催のためのツールの提供

各施設で開催している医薬品安全研修会に関する資料」を収集し、その概要をデータベース化し、提供する。

ウ. 医療事故の原因を見極め、再発防止策の提案ができる薬剤師の育成

危険予知トレーニング(KYT)などリスク感性を高めるための訓練や、根本原因分析(RCA)等の手法を用いた事件事例分析の研修会を開催する。

エ. 病診薬連携の推進と他職種との情報交換(各種委員会と連携)

病診薬連携による医療事故防止対策について具体的に推進する。

オ. 医療安全のための相談窓口としての役割と医療事故防止のためのツールに関する調査・研究(各種委員会と連携)

6. 地域医療・地域保健での薬事指導・啓発に関する事業

独自の「府民くすり相談会」の開催並びに府内各地で開催される地域健康展への参画に加え関係団体からの講師派遣など協力要請に積極的に対応する。また、大阪府「薬と健康の週間」事業へ協賛するとともに、独自の医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動を行う。

講演会、くすり相談会、各種パンフレット、「くすりQ&A」配布など

ア. 「府民くすり相談会」の開催

1. 回数 1回(予定)

2. 対象 大阪府民

イ. 関係諸団体と連携し各種イベントに協力

ウ. 大阪薬科大学が開催する市民講座等に協力

主にくすり相談を実施、病院・診療所での勤務の経験を生かした医療用医薬品、サプリメント併用の適正使用に関する啓発活動を行う。

1. 回数 2回(6月頃と11月頃の予定)

2. 対象 大阪府民

エ. 府民への医薬品の正しい使い方の啓発小冊子「くすりQ&A」など企画、刊行

病院・診療所における日常の薬剤業務並びに外来患者、入院患者への服薬指導を踏まえ、患者からの医薬品の正しい使い方などの質問を分かり易く説明した小冊子を企画・発刊し、府民への医療用医薬品に関する啓発の一助とする。

オ. 「薬と健康の週間」事業への協賛と医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動

大阪府内「薬と健康の週間」事業への協賛に加え、参画する。関係諸団体と協調し、医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動に協力する。

カ. 服薬遵守に支障がある者に対する医薬品の適正使用の啓発

高齢者、視聴覚障がい者、精神障がい者などに対して、医療用医薬品の適正使用に関する啓発と支援活動を行う。

キ. インターネットのホームページによる情報提供

ホームページを介し、会員および府民に医薬品の適正使用に関する情報を提供する。

7. 麻薬・向精神薬並びに取扱において特に注意を要する医薬品の適正管理に関する事業
麻薬及び向精神薬取締法、医薬品医療機器等法、薬剤師法などの関係法規遵守の指導講習会の開催及び同法に関する事項の調査・研究を行う。
- ア. 麻薬及び向精神薬取締法に基づく管理指導講習会
行政担当者による指導・啓発により、麻薬及び向精神薬取締法の遵守と適正な管理、取扱いを周知する。
1. 回数 1回（平成28年9月予定）
8. 臨床薬学などについての広報に関する事業
本会が積極的に推進する臨床薬学等に関する各種活動から得られる成果をより広く活用させるための事業を行う。
- ア. 広報誌『O. H. P. NEWS』の発刊
1. 内容 随筆、新薬の紹介、業務資料、各部各委員会の調査・研究の成果発表、研修会・講演会などの催し連絡等
2. 発行部数 年11回 毎回 3,900部
3. 配布先 会員、国会図書館、関係官庁及び関係諸団体など
9. 病棟薬剤業務の推進に関する事業
病棟薬剤業務実施加算業務を適正に遂行するための情報提供並びに調査を行う。
- ア. 病棟薬剤業務実施加算実施に関する相談窓口（Q&A）の継続
- イ. 病棟薬剤業務の推進に関する研修会等を開催する。
1. 回数 3回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約300名（予定）
10. その他目的を達成するために必要な事業
- ア. 薬剤師の医療倫理に関する事業
- 1) 高い倫理観を維持し業務実施できる薬剤師用の啓発資料作成
- イ. 病院・診療所薬局業務の拡充と管理運営の向上に関する事業
- 1) 病院・診療所薬局業務に関する調査・研究
- 2) 社会保険制度に関する研修・調査
平成28年度診療報酬改定を受けて薬剤師の取り組みに関する調査
社会保険制度全般に関する周知
上記内容を踏まえた研修会の開催
- 3) 薬剤師及び薬事に関する諸制度の調査・研究
麻薬及び向精神薬取締法の遵守と管理、取り扱いの周知
薬事関係法令の調査・研究
- 4) 精神科病院における薬剤師業務に関する調査・研究
府内の精神科を有する病院におけるチーム医療や適正処方に向けた取り組みについての検討・情報提供と精神科薬物療法認定薬剤師・精神科専門薬剤師の育成
- 5) チーム医療推進に関する調査・研究
- 6) 病院・診療所の外来などにおける患者支援業務に関する調査・統計の検討と業務支援につながる活動の企画

- ・情報交換会の内容の記録・資料化
- ・会員のニーズに合った勉強会開催の検討
- 7) 小規模病院における薬剤師業務・チーム医療への関わりに関する調査・研究
- 8) 医療事故防止のためのツールに関する調査・研究
- 9) 研修制度の充実と将来的活用に関する調査・研究
- 10) 医薬情報活用能力の向上を目的とする研修会の開催
- 11) 患者臨床データを薬学的管理に活用するための技術向上を目的とする研修会の開催
- 12) 大規模災害時等における協力支援の構築

ウ. 関係諸官庁・諸団体との連絡強化に関する事業

関係諸団体（大阪府健康医療部、大阪府薬剤師会、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会）と合同会議の開催

エ. 法規通達などの周知徹底の整備に関する事業

- 1) IT利用により会員施設へ法規通達などを伝達する機能整備に関する研究と推進
- 2) ファクシミリ同報システムを用いた情報提供の充実
- 3) インターネットによる情報伝達に関する調査・研究やその整備・保守に関する活動
- 4) 当会で運営しているインターネットおよび各種委員会メーリングリスト等を継続してより安定した環境整備を行う。さらに、ホームページを用いたアンケート等に関しても安定した環境・保守のための調査・研究を行う。

オ. 会員の親睦、福祉の向上、並びに会員増加に関する事業

- 1) 入会・退会手続きの簡素化を進める。
- 2) 個人情報の適正な管理を行い、会員名簿の作成を行う。
- 3) 未加入施設に入会を働きかける。
- 4) 小規模病院、精神科病院などにおける薬剤師確保のための方策を検討する。

カ. 日本病院薬剤師会近畿ブロック会活動に関する事業

- 1) 日本病院薬剤師会近畿ブロック会各種委員会の開催及び委員派遣
日本病院薬剤師会近畿ブロック会に属する中小病院および診療所における問題点について情報・知識を交換し、シンポジウムの開催、実態調査を実施する。
- 2) 日本病院薬剤師会近畿学術大会を主催

キ. 各種学会・研修会等への協力に関する事業

- 1) 全国診療所薬剤師協議会活動への協力
- 2) 薬科大学主催の卒後教育講座等への後援

ク. 事務所移転に関する事業

事務所機能の検討と移転先選定

ケ. 支部活動

本会の目的及び事業遂行のため、各支部において学術研修会及び地域での薬事衛生講習会等を開催する。